CLUB BULLETIN

R.　I.　第 2530 地区
いわき勿来ロータリー・クラブ

会長　星　行夫
幹事　吉野　彰芳
SAA　佐藤　政司
会報小委員長　遠藤　洵

○例会日　毎週水曜日（12:30 ～ 13:30）　○事務局　TEL/FAX（0246）56 － 3473
○例会場　ホテルミドリ　E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

2022 － 23 年国際ロータリーのテーマ
イマジン ロータリー

第 2934 回　例 会　令和 5 年 3 月 29 日 (水・晴)

ゲスト
NPO 法人　なこそ授産所
理事長　高村トミ子 様

ロータリーソング　奉仕の理想
ー今月は水と衛生月間、
米山月間ですー
４つのテスト
大平伸人　会員

◎会長挨拶ー星　行夫会長

こんにちは、先週末から、いわき地区の各地で桜が満開となっています。例年より、一週間以上早い満開だそうです。これも地球温暖化の影響なのでしょうか？このような現象が毎年続きますと、4 月の入学式で桜が舞い散るような情景はなくなってしまいそうです。なんとも悲しいことです。さて、今週の土曜日は茨城県笠間市にあります桜の宮ゴルフクラブで東京江戸川ロータリークラブとの親睦お花見コンペがあります。きっとたくさんの花びらの中でゴルフをすることになると思います。楽しく親睦を深めることを願っています。当日は朝早くの集合となりますので、参加される方はご準備をお願いいたします。また､4 月 16 日に開催される分区のチャリティーゴルフコンペの組み合わせ案内もガバナー補佐より届いています。回覧していますので､ご確認ください。本日は外部卓話の日です。特定非営利活動法人なこそ授産所の理事長である高村トミ子様をお迎えしております。後ほど､卓話の方宜しくお願いいたします。簡単ですが、会長挨拶といたします。

◎幹事報告ー吉野彰芳幹事

・米山記念館より賛助金のお願いが届いています。
・東京江戸川ロータリークラブより週報が届いております。

◎各委員会報告

◇出席委員会ー湯目　浩小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会ー柏原達之小委員長

・桜満開、なこそ授産所高村理事長をお迎えして。
星会長、林副会長、斉藤会長エレクト、吉野（彰）幹事、鈴木（敏）副幹事、木村（義）、鈴木（雅）、渡邉公平パストガバナー、影山、大平、鈴村、髙萩、高野、鈴木（修）、清水、根本、木村（博）、湯目、佐藤（政）、柏原各会員

◇次年度についてー鈴木敏広副幹事

次年度 2023 － 24 年度地区協議会研修案内が届いています。参加するのは当クラブ役員の皆様ですが、各委員会の委員長さんにも声を掛けさせていただきます。日時は 5 月 13 日（土）にパルセ飯坂で開催されますので今から日程を空けておいて下さい。担当される方へはメールやファックスで詳細をご連絡いたします。宜しくお願いいたします。

出席状況	正会員数	36 名	カード出席	2 名
	本日出席会員数	24 名	本日の修正出席率	74.29 %

◎外部卓話

NPO 法人　なこそ授産所
理事長　高村トミ子 様

皆さん、こんにちは。会員の皆さんのお顔を拝見致しますと知っている方が沢山いらっしゃいます。この方にはこんな事でお世話になった、あの方にはあの時お世話になったと思い出されます。私も長い間つくづくやって来たと思います。皆さん、先日開催されたＷＢＣはどうでしたでしょうか。私も野球に詳しくありませんが恐くて影の方からテレビをのぞいていました。そして感動が一杯ありました。感動が人間を幸せにしてくれるとつくづく思いました。本日、私がお話をするのは障害者と私についてです。私が障害者と出会ったのは、お父さんと私が結婚した時に障害者の妹が付いて来ました。最初に紹介されたのが妹で重い障害でしたが大変明るかったです。お母さんが面倒を見ていましたがお母さんが 2 年後に亡くなり施設に入ることになりました。私が親の会と係わったのは息子がコミュニケーション能力不足ということで、特殊学級に 2 年生から 4 年生まで 3 年間入りました。その時親の会の会長にあなたなら出来ると言われ勿来地区の会長になりました。勿来地区の会長になったらいわき市に連れて行かれ、あなたは頑張り屋だから副会長をお願いされ、そして県の役員もお願いされ役員もやりました。息子と一緒に頑張ったお陰で通常学級に戻りましたので、親の会を止めようかと思いましたが、息子がここまで育ててもらったのだから私は御礼をしようと今まで来ました。県の役員になった時に県で小規模作業所をやるんだったら補助金が出るようになると言われました。いわき市の会長から高村さんやってみようと言われ、市に相談したら今の錦の施設のボロ屋を紹介され大変楽しくやらせていただきました。最初は何をやっていくのかわからず運営するお金は年間 120 万円でした。そこで古紙回収を行い彼らから人間はこういう風にすると良いよ、幸せはこうやれば良いのだと教えてもらった気がします。私が指導したのではなく私は指導された方です。平成元年の 6 月に前の所長さんが退職され私が所長になったら倉庫が火事になりました。その倉庫も市で建ててくれダンボールも一杯、味噌もやりましたので味噌も一杯、前の日に畳を入れておいたのでそれが全て燃えてしまいました。その時私はこれで終りだと思いました。利用者さんは仕事が無くなったと泣いていました。しかし、地域の方、親の会の役員の方が何日も火事場のかたづけをやってくれました。その時思いました。私達の活動はただ古紙回収して利用者さんと仕事しているだけではなかったんだ。やっぱり地域の中でこの人達が生き過ごすことで地域を変えて来たんじゃないかという思いがありました。そして地域の方々からお見舞い金を沢山いただきました。倉庫の隣にあった作業場も焼け焦げましたがお見舞い金で直すことが出来ました。倉庫も市で作っていただき多くの人達が手伝ってくれました。古紙回収しても置く場所が無くなり西本商会さんで預かるから毎日持って来てくれと言われ預かっていただきました。その時お金が無くなって困っていたら、こちらの鈴木修一郎会員から植田の歩行者天国（春・秋）に参加したらと誘われ参加するようになり参加した時は地域の人が皆応援して大変嬉しかったです。平成 4 年と 6 年に署名活動が全国親の会であり JR 運賃割引が国会を通過して新幹線に乗せ修学旅行を行うことが出来ました。署名活動は主人が火力さんに勤務していましたので職場の方はもち関連会社の方全てに署名をお願いし、クレハさんへ、日本製紙さんへお願いに伺いました。また、小規模作業所の予算が足らないので署名活動し県に陳情しましたら、県でお金を出して授産振興会を立上げてくれました。授産振興会は作業所で作った物を販売する会です。順調に行くかと思った矢先に会長さんが亡くなり、私が小規模作業所連絡協議会の会長、授産振興会の会長を 15 年兼任しました。そして毎年歩行者天国、いわき踊り、公民館まつり等に出店し益金を NPO 法人になる 18 年間積立ました。その積立金で先程の修学旅行第 1 回京都へ行きました。次はどこへ行きたいか聞くと飛行機に乗りたいと北海道へ、次は海外が良いとなりグアムへ行きました。そしてハワイ、沖縄、九州、大阪へ続いてお母さん方が涙を流して喜んでおりました。平成 18 年には NPO 法人として立上げました。そこで賛助会員を募集したところ企業団体 40 社、個人 100 名が賛助会員になっていただきました。また、平成元年度より一年のしおりを皆様へ発行し送らせていただいています。皆さんご協力を宜しくお願いします。